

平成 26 年度  
事業報告書

社会福祉法人 山王平成会

## 目次

法人本部	.....	1
ごしよの保育園	.....	5
かわしり保育園	.....	11
阿久和保育園	.....	21
阿久和キッズ	.....	29
西柴保育園	.....	35

平成 27 年 2 月 27 日

# 平成 26 年度 社会福祉法人山王平成会 法人本部事業報告

## 1. 理事・監事

理事・監事は次の通り。(敬称略)

- ・理事長 長谷川 貴勇
- ・理事 田堰 庄一、中川 實、地主 徹弥、有田 正司、加賀屋 寛子、  
中川 啓子
- ・監事 田口 昭一、木村 了

## 2. 理事会の開催

第 1 回 平成 26 年 4 月 10 日(木)

第 1 号議案 理事長及び副理事長互選の件

第 2 号議案 職務代理者指名の件

第 3 号議案 阿久和キッズの運営と就業規則ほか各種規程の件  
報告事項

( 1 ) 定款変更登記(一時預かり事業)について

第 2 回 平成 26 年 5 月 28 日(水)

第 1 号議案 平成 25 年度事業報告書の件

第 2 号議案 平成 25 年度財務諸表等の件

報告事項

( 1 ) 阿久和キッズの現況と今後の見通しについて

第 3 回 平成 26 年 8 月 28 日(木)

第 1 号議案 社会福祉法人山王平成会定款細則の件

第 2 号議案 ごしよの保育園 屋上防水・外壁補修の件

第 3 号議案 社会福祉法人山王平成会 ホームページ開設の件

第 4 号議案 阿久和保育園借入金の保証人追加(連帯保証人変更届)の件

第 5 号議案 保育士等処遇改善臨時特例事業の件

報告事項

(1) かわしり保育園改修工事(トイレ)実施について

(2) ごしよの保育園ボイラー改修工事の実施について

### 3. 重点施策

#### (1) 小規模保育施設の開園

- ・平成 26 年 4 月 21 日、横浜市瀬谷区に小規模保育事業のモデル園として「阿久和キッズ」を開園。
- ・現在は、子ども子育て支援新制度前であるため認可外保育施設として運営しているが、平成 27 年 4 月 1 日より認可事業の「阿久和キッズ」として再始動することになる。
- ・園運営における開園及び閉園時間については、今年度同様の時間帯を進める。  
なお、平成 27 年度も一時保育は実施しない。
- ・12 月 31 日現在、入所児童数 18 名(定員 19 名)、職員数 9 名(うち正規職員 3 名)。
- ・阿久和保育園、地域住民、官庁関係と円滑な連携がとれている。
- ・平成 27 年度は、卒園後の受け皿となる他法人(幼稚園、認定こども園、保育園)との連携に向け市役所、区役所と連携し進めていく予定である。

#### (2) 長期計画(平成 24 年度～平成 26 年度)の継続的実行

- ・全般を通じて、ほぼ予定通り推移している。
- ・一部、項目内容、達成時期の見直しが必要である。  
(詳細については別紙参照)

#### (3) 法人本部としての機能的な組織運営

- ・園長会議の定期的開催(年 2 回)  
平成 26 年 6 月 10 日(火)に実施  
平成 27 年 1 月 16 日(金)に実施予定
- ・理事会の年 4 回以上開催  
平成 26 年 4 月、5 月、8 月、平成 27 年 2 月(予定)に実施
- ・法人財務の充実  
税理士事務所と連携し、安定的な財務管理を遂行した。

#### (4) 法人としての人財育成

- ・秋田市・横浜市に保育園を持つ山王平成会の特徴を活かし、行事を中心に互いの保育園を見学し、良い点を吸収することができた。
- ・各園の研修計画に則り、全般的に実行に移すことができた。

#### (5) 各種規定類の見直し

- ・現在、給与規程の見直しを検討している。新しい給与規程の開始は、平成 27 年度より実施する予定で順調に進捗している。
- ・新しい給与規定の内容については、平成 27 年度に各園において説明会を実施し、周知徹底を図っていく予定である。

( 6 ) 幼保小の取り組みについて、各保育所の情報共有化

- ・幼保小の内容に留まらず、その他事項についても園長会を通じ情報の共有化が図れている。今後もこの流れを大事にしていきたいと考えている。

職員内訳

(平成 26 年 12 月 31 日時点)

(単位：人)

	常勤職員	非常勤職員	事業所計
法人本部	1	1	2
ごしよの保育園	25	29	54
かわしり保育園	18	5	23
阿久和保育園	18	10	28
西柴保育園	10	11	21
阿久和キッズ	3	7	10
法人合計	75	63	138

4. 児童数の状況

(単位：人)

	定員数	児童数(月平均)
ごしよの保育園	180	185.3
かわしり保育園	60	71.6
阿久和保育園	90	93.4
西柴保育園	60	51.4
阿久和キッズ	19	11
合計	409	412.7

以上



# 平成 26 年度 ごしよの保育園保育園事業報告

## 1. 事業内容

- 保育事業
- 一時預かり事業
- 延長保育事業
- 病児・病後児保育（体調不良児対応型）事業

## 2. 保育園をめぐる状況

平成 26 年度も定員は 180 名であるが、実質 198 名の対応となっている。年長児が 11 月に 1 名退園したものの、1 歳児クラスが 34 名であるので、年度末は 198 名となった。

以前より、自主事業として行っている 20 時までの延長保育は、通勤の多様化に即して、列車に乗り遅れた際に利用する方がおり、突然の対応が増えている。また、病児・病後児保育体調不良児対応型を利用される方も増えてきている。

以前より冬季になると不調をおこしていたボイラーを全機入れ替えしたことで、安心して冬を迎えることができ、職員一同安心している。

そして、防水シートの張り替え、園舎のクラックの補修と塗り替えを行ったことにより、また新しい保育園になったように感じられる。

在宅の方の子育て支援として、ふれあいセンターで行う遊びの提供だけでなく、保育園に来てもらい、実際の給食を試食し、子どもの食事について関心を持ってもらう活動も行い好評を得ることができた。

## 3. 重点施策

### ○保育活動の充実

・横浜の姉妹園で行われている「リズム遊び」を保育の中に取り入れ、月二回の活動とその反省を行い、ごしよの保育園の園児全員が等しく活動を経験できるように、場所や指導の職員の組み込み方を検討しながら行った。子ども達の移動の仕方や、場所のとり方については各担任からの意見を聞きながら反省を積み重ね、改善しており、このことは来年度にも継続していきたいと思っている。

・研修報告の書き方に関しては、職員も書きやすく、また、必要とあれば短時間の報告会を開いて周知するようにしたことで、研修内容が各自に伝わっているように思われ

る。

・食育に関しては、厨房職員と担任が計画を立てその季節に合ったクッキング保育を行ったり、野菜の栽培を行ったりするようにした。また、保育参観参加週間は希望の保護者に給食とおやつを試食をしてもらった。給食の内容を知らせると共に、子ども達の食事の準備から片付けまでを見て、自分の子どもの家庭にいる時とは違って自分で頑張るところをたくさん発見してもらうことができた。

・アレルギーのことについては、研修で話題になるたびに、職員会議で報告をして、共通理解を図るようにしている。

・病児・病後児保育体調不良児対応型の保育に関しては、登園してから体調不良になった子どもを保健室に移して看護師が看ることで、保護者の方も安心して仕事を切り上げた迎えができるようになった。また、保育者も、別室に移ることで他の子どもへの感染が防げること、健康な子ども達を守ることができるので、安全な保育を展開することができるようになった。

サーベイランスに関しては、入力するが学校や施設が少なくなってきたことで、確かな情報をなかなか得られないところもあるが、流行期には流行地域の把握などは出来ると思っている。

#### 4. 施設整備及び備品等購入

○今年度計画をしていた園舎の補修、フェンスの設置、床暖用ボイラーの交換はすべて行うことができた。

#### 5. 部門別保育年度達成目標

0歳児 年度後半、産休明けの子ども達が入園した際、西側にベビーベッドを設置し子どもの安全を図った保育に努めた。また、昨年度の園内研究で作成した準備室の流し台にかけるカバーを引き続き利用し、広い場所を使って安全な保育を心掛けた。

1歳児 毎日、朝のおやつ準備前に、保育室全体をつかって「リズム遊び」をし、自然にリズムに合わせた動きが身につくようにしている。キーボードの音が流れると保育者のもとに集まり、保育室狭しと走り回る姿もある。

2歳児 おひさまグループ・おつきさまグループに分かれ活動に偏りができないように配慮しながら活動を組んで保育を展開した。バスでおでかけの際も安全を考慮し出かけるグループに保育士を多く配置し、楽しく活動できるようにした。

3歳児 昨年度に比べ全員で活動する機会を増やし、朝の活動などじっくり担任と向き合う時間も大切にしながら保育を組み立てた。担任も2クラスの子どものことと丁寧なかかわりを持つことができていたと思う。

4歳児 集団で生活するための約束事を、子ども達と一緒に考えながらみんなが守れるような指導に心掛けた。身体的な障害を持った子どももいるが、みんなで思いやって、困っている時には手を差し伸べられる気持ちづくりにも努力した。



5歳児 就学に向けて、友達と協力して活動に取り組んでいく気持ちづくりをすることで、考えを出したり、お互い協力したりしようとする姿が見えてきた。

6. 児童数・職員数

(1) 入所児童数(平成 26 年 12 月 31 日時点)

(単位：人)

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
4月	10	34	33	33	32	33	175
5月	14	34	33	33	31	33	178
6月	16	34	33	33	31	33	180
7月	17	34	33	33	32	33	182
8月	18	34	33	33	33	33	184
9月	18	34	33	33	33	33	184
10月	20	34	33	33	33	33	186
11月	24	34	33	33	33	33	190
12月	24	34	32	33	32	32	187
1月	26	34	32	33	32	32	189
2月	29	34	32	33	32	32	192
3月	33	34	32	33	32	32	196

(2) 職員数(平成 26 年 12 月 31 日時点)

(単位：人)

職種	園長	保育士	栄養士	調理師	事務員	看護師	その他	合計
正職員	1	11	1			1	1	15
嘱託職員		8	1			1		10
パート職員		23	1		2		3	29

## 7. 実施行事

### (1) 実施行事一覧

月	日	名称	内容
4	1	進級・新入日	
	4	進級・新入を祝う会	進級・新入をみんなでお祝いした。
	5	保育園懇談会・ごしょの会総会 クラス懇談	保育園と保護者も一緒になって、子ども達のことを考える会を開いた。
5	2	端午の節句集会	子ども達で端午の節句をお祝いした。
	13・20 27	内科検診	3回に分かれて園医の細谷先生に来ていただき全員検診を受けた。
6	1 4	保育参加・参観	お子さんと一緒に保育園での遊びをクラスごとに楽しんだ。
	初旬	歯科検診	園医の平塚先生に来ていただいて歯科検診を受けた。
7	7	七夕集会	子ども達で短冊にお願いを書いて飾り、集会をした。
	11・12	お泊り保育	年長児が岩城少年自然の家で一泊した。
8	9	夏まつり	園児とその家族と地域の方で楽しんだ。
9	下旬	運動会	御所野小学校の体育館やグラウンドで楽しく行った。
10	中旬	遠足	学年ごとに園バスに乗って出かけた。
	14・21 28	内科検診	3回に分かれて園医の細谷先生に来ていただき全員検診を受けた。
11	4~10	自由遊び参観・参加週間	保護者の方も先生になったつもりで保育に参加した。
	6	子育て支援・給食試食会	子育て支援に参加している方たちの給食試食会をした。
12	6	発表会	秋田テルサにて行った。
	2 2	クリスマス会	子ども達でクリスマスを楽しんだ。
1	9	新年を祝う会	新年をみんなでお祝いした。
	1 7	給食試食懇談会・ごしょの会総会	保育園のことについて話し、給食の試食をした。 また、ごしょの会の活動報告をした。
2	2	節分集会	子ども達で鬼の出てくる劇を見、年長が豆まきをして鬼を追い払った。
3	3	ひなまつり会	子ども達でひなまつりをお祝いした
	7	年長保育参観・クラス懇談	卒園の思い出になるものを親子で力を合わせて作ったり、歌を聞いてもらったり、クラス懇談会では卒園前の子ども達の様子をお伝えした。
	1 5	卒園式	シルバーエリアの多目的ホールで、巣立つ年長をお祝いした。

\* その他、誕生会・避難訓練を毎月行った。

\* 園バスに乗って、おでかけをした。(3・4・5歳児は毎月、2歳児は夏・秋)

\*各クラスで身体測定をおこない、保護者にお知らせした。

## (2) 来年度に向けての検討事項

- ・自由遊び参観・参加週間と子育て支援・給食試食会が重なったことで、厨房が忙しくなってしまったこともあるので、来年度は子育て支援・給食試食会を10月に行った方が良いということになった。

## 8. 研修報告

### (1) 研修報告一覧

月	日	名称	内容
4	10	平成26年度園長等運営管理協議会	秋田県教育庁幼保推進課より今年度の研修等について・学校評価について
	28	平成26年度教頭・主任等研修会	秋田県教育庁幼保推進課より児童虐待について、学校評価についてなど
5	9	給食担当者部会	食育製作
6	2	食物アレルギー対応講習会	食物アレルギーについてエピペンの実技 他
	16・17	保育者保健・衛生専門研修会	子どもの発達と生活リズムの構築アレルギーのある子どもへの対応 他
	17	主任・保育士部会	子ども子育て新制度について
	27	調理員部会	給食室での衛生管理について
	30~2	阿久和保育園リズム研修	阿久和保育園で、リズム活動への参加・実習
7	2	南部地域子育て支援ネットワーク連絡協議会	秋田市南部地域子育て支援ネットワークについて
	3	気になる子の研修会パート	特別な配慮を要する幼児の理解と支援
	4	給食担当者部会	講演「秋田のおいしい旬の野菜を食べよう」他
	11	障害者雇用セミナー	「特別支援学校職業教育フェスティバル」及び「障害者技能競技大会」見学
	11	アドレナリン自己注射・エピペン使用講習会	アドレナリン自己注射：エピペンの使用の仕方の実演
	11	前期南部地区幼保小連絡協議会	秋田市立四ツ小屋小学校授業参観・講話会
	17	秋田市立病院病児保育園見学	秋田市立病院病児保育園見学 他
	28・29	リズム研修報告会	阿久和保育園に研修に行った職員からの報告会
8	7~8	園内エピペン研修	研修に参加した職員より報告会
	28	主任保育士部会 学習会	気象災害から子ども達を守るために
9	5	乳幼児研修	
10	3・4	西柴保育園運動会・阿久和保育園・キッズ見学	施設及び運動会の見学
	10・11	阿久和保育園運動会・西柴保育園・キッズ見学	施設及び運動会の見学
	21	後期南部地区幼保小連絡協議会	ごしょの保育園保育参観・グループ討議
	30	平成26年度教頭・主任等研修会	秋田県教育庁幼保推進課より 学校評価について
11	12~	第58回	・行政説明 ・分科会（第3分科会・第10分科会）
	14	全国保育研究大会	・記念講演
	17	園内研修1年目	絵本「だるまさんが」の読み聞かせについて
12	13	阿久和保育園発表会	・発表会の見学
	15	園内研修1年目	絵本「こぐまちゃんのみずあそび」の読み聞かせについて
1	15	南部地域子育て支援ネットワーク連絡協議会	手作りおもちゃの講習会

	30	平成26年度保育所(園)長研修会	新制度における保育所の役割と責務
2	5	改正パートタイム労働法等説明会	改正パートタイム労働法について他
	17	平成26年度秋田市幼・保・小連絡協議会	秋田市も幼保小の連絡協議会
	28	幼児教育合同研修会	大豆生田啓友先生講演会
3			

＊リズム研修

毎月第一第三水曜日午前10時から1歳児保育室とホールに分かれ全園児参加のリズム活動を行っている。

その際、前回の反省の記録から改善点をねらいにし、みんなで楽しくリズム活動に参加できるようにするにはどうしたらいいか研究部で提案をし、行うようにしている。

また、毎月一回、各学年からできてきているところ、次の月に向かっての重点などを出してもらい、全学年で、また、二つの場所で同じ経験ができるように共通理解を図るための話し合いも設けている。

(2) 来年度に向けての検討事項

- ・各年齢の子どもの育ちについての理解が不足しているように思われることがあるので、次年度は、幼児理解に基づいた遊具や絵本について研修していきたいと考えている。

以上

# 平成 26 年度 かわしり保育園事業報告

## 1. 事業内容

- ・ 保育事業
- ・ 一時預かり事業
- ・ 延長保育事業
- ・ 休日保育事業

## 2. 保育園をめぐる状況

・ 昨年度から秋田市の要望により、1・2歳児の保育需要の拡大を受け、1・2歳児の例年以上の受け入れを実施した。その結果、10名定員の所、1・2歳児ともに13名ずつの人数となり、保育士を3名配置（子どもの人数6名に対し、保育士が1名と決まっているため）してのスタートとなった。保育士の人数に余裕があることを活かし、積極的に在宅児童の受け入れを実施した。また姉妹園の山王幼稚園付属さんさん保育園が定員を超えた為、在宅児童の受け入れができず、かわしり保育園へ預かり登録を希望する方も多かった。

・ 昨年度実施した保護者アンケートを受け、保護者からの要望に応えながら保育運営を行ってきた。今年度、新しく園長先生を迎え、新しいかわしり保育園を運営できるよう、職員一丸となって保育に取り組んできた。

## 3. 重点施策

新園舎の環境設備・体制作り（特に地震・津波における避難の強化を図る・メール配信サービスの開始）

防災計画を見直し、津波が想定された場合の最終避難場所を総社神社からJAビルへと変更した。秋頃、JAビルまでの避難を実践しようと考えたが、寒い日が続いた為、2階への避難となった。

緊急時の避難にあたり、メール配信サービスを実施。緊急時のためのタブレット、携帯電話も購入し、試験メールを行う予定だったが、保護者からのクレームもあり、中断してしまった。来年度は実施に向けて保護者に説明してから行いたい。

避難にあたり、備品、食料の見直しを今後、行う予定。

園内外の修繕

- ・ ホールエアコンの設置工事（6月17日～24日）
- ・ 1階トイレ改修工事（9月1日～10月6日）
- ・ 園児用トイレ壁改修工事（2月10日～28日）

ホールのエアコンを設置し、夏場の竿燈練習も快適に過ごすことができ、練習にも頑張っており取り組むことができた。1階トイレの工事も無事に終わることができ、2歳児の子ども達も快適に過ごすことができた。保護者からも匂いがなくなったとお話があった。

一時保育・休日保育の利用者数の拡大

一時預かりの定期的な利用者は減少したものの、日によって利用する方が多かった。休日保育は昨年度より減少。需要が少ないことを痛感させられた。

#### 4. 施設整備及び備品等購入

メール配信サービス開始料及びタブレット・携帯電話の購入費

216,800円

ホールエアコン改修工事費

2,310,120円

1階トイレ改修工事費

4,858,920円

園児用トイレ壁改修工事

1,948,960円

#### 5. 部門別保育年度達成目標

○乳幼児保育部門

・0歳児 今年度は高月齢と低月齢の子どもの割合が半々だったので、保育室を2部屋に分け、11月より保育を行う。子ども達ものびのびと過ごせるようになったが、より保育士同士の連携を図っていくように心がけた。

・1歳児 チーフが産休に入り、フリーの職員と連携を図って保育を行った。嘔みつきの子どもがいたため、職員間で話し合いを行いながら保育を進めていくようにした。

・2歳児 トイレトレーニングが進まない子どもが多く、職員間で話し合いながら保育を進めていった。最終避難場所をJAビルに設定した時からビルまで続く遊歩道をよく歩き、防災時に備えた。

○幼児保育部門

・3歳児 防災時に備え、近隣をよく歩き、体力をつけていくようにした。要望の多い保護者もいたので、その都度、丁寧に対応するように心がけた。人前に出ることが苦手な子どもも多かったため、いろいろな経験を通して、自信をつけて保育を行った。

・4歳児 運動会後から担任が産休に入り、新人の職員が産休代替えに入り、クラス運営を行う。保護者から若い職員へ担任が変わることへの心配はあったが、フリーの職員がつきながら保育した。

・5歳児 竿燈に向けて普段の遊びの中でも取り組めるように環境設定した。今年のごしよの保育園、山王幼稚園と交流する機会が多く、人との関わりを楽しめるように保育をした。保護者からの様々な要望にも応えながら保育運営をした。

○給食部門

・職員が一新し、新しいスタートとなった。問題が起きた時には、職員間で話し合いながら進めていった。6月から新しい職員も入り、落ち着いてきている。食育計画、研究なども厨房の職員が中心となって今後、進めていきたい。

○子育て支援部門

- ・園開放を5月より実施。広報にも掲載し、多い月で5～6名の来園者がいた。
- ・講演会では今年度より学校で必須となったダンスを取り入れ、保護者にも参加して頂いた。
- ・一時預かりの子ども達は、月平均10名前後の利用となっている。

6. 児童数・職員数

(1) 入所児童数(平成26年12月31日時点)

(単位：人)

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
4月	6	13	12	13	11	12	67
5月	7	13	12	13	11	12	68
6月	7	13	12	13	11	12	68
7月	7	13	12	13	11	12	68
8月	7	13	12	13	11	12	68
9月	7	13	12	13	11	12	68
10月	11	13	13	13	11	12	73
11月	12	13	13	13	11	12	74
12月	13	13	13	13	11	12	75
1月	14	13	13	13	11	12	76
2月	15	13	13	13	11	12	77
3月	15	13	13	13	11	12	77

(2) 職員数(平成26年12月31日時点)

(単位：人)

職種	園長	保育士	栄養士	調理士	事務員	看護師	合計
正職員	1	4					5
嘱託職員		11	3				14
パート職員		3			1	1	5

## 7. 実施行事

### (1) 実施行事一覧

月	日	名称	内容
4	1 1	進級・新入を祝う会	新入児の紹介をしたり、各クラスの目標を発表し皆でお祝いした
	1 7	バス試乗会	1、2、3歳児がおでかけする時のバスに試乗した
	2 2	誕生会	4月の誕生児を家族と園児、職員でお祝いする(以下、毎月同じ)
	2 5	避難訓練	火災訓練(厨房からの出火)をした
5	2	端午の節句集会	皆でこどもの日のお祝いをしたり、節句メニューを食べた
	8	バスでお出かけ(御山野楽校)	年長児が法人所有の山に、じゃがいもの苗を植えた
	1 3	親子遠足	全園児と保護者が大型バスで大森山動物園へ行き、楽しく過ごす
	1 9	内科健診	嘱託医から全園児受診した
	2 6	交通安全教室	秋田市交通巡視員より交通ルールを学んだ
	2 7	誕生会	5月の誕生児をお祝いした
	2 8	さつまいも苗植え(シルバーエリア)	シルバーエリアに行き、さつまいもの苗を植えた
6	3 0	避難訓練	地震訓練をした
	4	歯科健診	嘱託医から全園児受診した
	1 0	グリーンエコプロジェクト参加	本金西武からの依頼でゴーヤ植えに年長児が参加した
	1 7	バスでお出かけ(中央交通)	3歳児がバス会社で大型バスに乗ったり、お話を聞いた
	2 3	誕生会	6月の誕生児をお祝いした
7	2 7	避難訓練	地震・火災訓練。地震の後火災が発生したという設定で行った
	7	七夕集会	七夕の由来を聞いたり、皆で歌ったり七夕メニューを食べた
	2 3	ファミリーマートオープンイベント	オープンイベントに招待され3歳児が参加した
	2 5	避難訓練	地震訓練をした
8	2 9	誕生会	7月の誕生児をお祝いした
	1	竿燈壮行会	保護者、来賓の前で年長児が竿燈を披露し、意欲を高めた
	3	竿燈参加日	竿燈行事に年長児が参加した
	18~	個人面談週間	全クラス保護者と面談し、以後の子どもの育ちに役立てた
	2 6	誕生会	8月の誕生児をお祝いした
9	2 9	避難訓練	火災訓練(3歳と5歳、2歳と4歳が手をつないで公園へ避難した)
	1 3	運動会	保護者や来賓の前で元気に運動やお遊戯をした
	1 6	交通安全教室	秋田市交通巡視員より交通ルールを学んだ
	19~ 20	お泊り保育	年長児がまんたらめに一泊し、友だちと楽しい思い出をつくった
	2 2	誕生会	9月の誕生児をお祝いした
	2 6	バスでお出かけ(県立プール)	県立プールで水と触れ合った
	2 6	避難訓練(不審者侵入訓練)	不審者侵入の訓練をした
3 0	バスでお出かけ(AAC)	アスレティッククラブで水泳指導を受けた	



10	6	内科検診、自由保育参観・参加ウィーク	保護者が都合のいい日に参加参観してもらった
	7	バスでお出かけ(グリーンパーク)	1、2歳児がグリーンパークで遊んだ
	8	バスでお出かけ(加賀谷果樹園)	3歳児がりんご狩りをした
	10	サッカー教室	年長児が秋田県サッカー協会指導員より指導をうけた
	17	避難訓練	地震、津波想定(雨の為2階保育室に避難)をした
	24	バスでお出かけ(AAC)	アスレティックで水泳指導を受けた
	28	誕生会	10月の誕生児をお祝いした
	31	サッカー教室	年長児が秋田県サッカー協会指導員より指導をうけた
11	7	バスでお出かけ(県立プール)	県立プールで水遊びをした
	8	講話会	外部の講師を招き、親子でダンスを楽しんだ
	25	誕生会	11月の誕生児をお祝いした
	28	避難訓練	火災訓練をした
	29	お楽しみ発表会	保護者や来賓の前で堂々と発表した
12	4	スポーツ教室	年長児が市内の年長児とスポーツ交流した
	5	交通安全教室	交通ルールを学び、年長児は修了証書もらった
	22	誕生会	12月の誕生児をお祝いした
	24	クリスマス会	皆で歌ったりダンスをしてサンタさんからプレゼントもらった
	26	避難訓練	火災訓練をした
1	9	新年を祝う会	新年の挨拶を交わしたり、書初めを見たりして新年を祝った
	19	ごしよの保育園との交流	年長児と一緒に歌ったり、リズム遊びをして交流した
	27	誕生会	1月の誕生児をお祝いした
	30	避難訓練	不審者侵入訓練をした
2	3	豆まき会	皆で豆まきをした
	6	修了写真撮影会	友だちと記念写真撮影をした
	24	誕生会	2月の誕生児をお祝いした
		避難訓練	火災訓練をした
3	3	ひなまつり会	みんなでひなまつりのお祝いをした
	7	卒園式	年長児さんの卒園をお祝いした
	24	誕生会	3月の誕生児をお祝いした
		避難訓練	地震・火災訓練をした
		お別れ遠足(年長児)	卒園を前にみんなでお出かけをした

## (2) 来年度に向けての検討事項

- ・どの行事にも楽しく張り切って参加していたので内容を検討しながら、より充実させ、子どもたちの成長につなげていきたい
- ・避難訓練にいつも真剣に参加していたのでこれからも災害の怖さを知らせながら、いざという時のための備えをしていきたい。

## 8. 研修報告

### (1) 研修報告一覧

月	日	名称	内容
4	11	秋田市地区保育士会総会	今年度について（主に全国大会の秋田開催について）講演会
	14	秋田県民間保育所協議会総会	H25年度の事業報告と決算、H26年度の事業計画と予算について
	15	地区保育士会幹事会	役員挨拶、役割分担について
	16	研究部会	今年度のすすめ方、冊子作成についての話し合い
	16	幼稚園・保育所新規採用者研修	保育士としての基礎について。新制度についての説明。
	16	安全安心のための学校給食環境整備事業について	食材の放射性物質検査の内容や検査方法について
	18	秋田市民間保育協議会及び総会	H25年度の事業報告と決算、H26年度の事業計画と予算について
	20	秋田県保育士会総会	総会並びに鈴木みゆき氏による講演会
	24	秋田県保育協議会総会	H25年度の事業報告と決算、H26年度の事業計画と予算について
	25-26	阿久和キッズ内覧会	理事長挨拶、祝辞、鏡割り・乾杯、園長挨拶
	28	平成26年度教頭・主任等研修会	「問いを発する子ども」について
5	9	給食担当者部会	他園の栄養士との交流やフェルトによる野菜の飾り作り
	14	研究部会	冊子作り（ページの担当、内容決め）
	21	主任部会	H25の事業報告、H26の事業内容について
	22	第一回看護師部会	H26活動計画、他園との情報交換
	23	幼稚園・保育所新規採用者研修	幼稚園教育要領・保育所保育指針について
	23	日韓平和・幼児教育交流研修会	日韓相互の幼児教育・保育を学ぶ
	23	就学前教育におけるキャリア教育、乳幼児の発達と保育の環境	左記のテーマについてグループディスカッション後、全体での発表
6	2	H26食物アレルギー対応講習会	アレルギーについて、対応の仕方について
	4	幼稚園・保育所5年経験者研修	保育におけるねらいと実践について。子どもの主体的な活動を支える環境の構成と保育者の関わりについて。
	6	ディリープランニング研修	長時間保育のねらいと実情について
	11	研究部会	冊子作成（絵本のあらすじ等の構成）
	11	幼稚園・保育所新規採用者研修	附属幼稚園の見学、分科会
	12	地区保育士会幹事会	保育会費について、ミニ学習会について
	17	第一回主任・保育士部会	子ども子育て支援新制度について
	27	給食室の衛生管理について	食中毒の種類、症状、特徴について
	27	遊びの充実を目指して	子どもたちの遊びの姿について、保育者のかかわりについて
	28	ミニ学習会	ストローを使ってのおもちゃ作り
7	2	幼稚園・保育所新規採用者研修	絵本の読み聞かせについて
	3	気になる子	特別な配慮を要する幼児の理解と支援について
	4	給食担当者部会	料理研究家、渡部恵美先生の調理を見学
	9	研究部会	冊子作成（絵本のあらすじ等の構成）

	11	食品アレルギー・エピペン使用講習会	アレルギー対応への取組、エピペンの使用状況について
	15	秋田市幼稚園・保育所・小学校連絡協議会	近隣小学校の授業参観、配慮を要する子どもへの対応について
	17	第2回看護師部会	病児保育園の見学
	22-23	幼稚園・保育所新規採用者研修	乳幼児理解、運動遊びについて
	24	給食担当職員研修	食物アレルギーに配慮した調理の工夫について
	24	施設見学	近隣の保育園の見学
	28	保育21世紀セミナー2014	子ども園の説明
8	4	幼稚園・保育所5年経験者研修	配慮を必要とする子どもの理解と支援について
	6	幼稚園・保育所新規採用者研修	日案の作成と保育の実践について
	7	秋田市幼児発達支援事業説明会	キッズステップノートのしくみについて
	20	厨房研修	離乳食の調理の仕方について
	22	厨房研修	ごしよの保育園での実践研修
	26	研究部会	冊子作成（絵本と手遊びの内容について）
	28	主任部会	気象災害から子どもたちを守るについて
9	2	園長セミナー	子ども子育て支援新制度、保育単価について
	5	乳幼児保育研修会	遊びを継続するための環境の構成について
	18	幼稚園・保育所新規採用者研修	近隣の保育園の見学
	25	施設見学	近隣の保育園の見学
10	3	西柴保育園運動会見学	西柴保育園の運動会の見学、視察
	8	秋田市児童福祉施設給食関係者研修会	保育における食物アレルギーの考え方について
	9	男性保育士部会	出前保育の内容構成
	9	幹事会	ミニ学習会の反省
	11	阿久和保育園運動会見学	阿久和保育園の運動の見学、視察
	22	秋田市感染症予防研修会	結核、胃腸炎、インフルエンザ、麻疹風疹について
	24	給食担当者部会	給食施設の衛生管理について
11	5	スチームコンベクションの調理講習会	スチームコンベクションの使用法、調理の仕方について
	5	男性保育士部会	出前保育の内容、その他確認
	12-14	全国保育研究大会	第58回保育研究大会が秋田市大会の手伝い
	18	第一ブロック児童福祉施設給食関係者研修会	来年度改定の食事摂取基準について
	20-21	施設長研修	宮城県の被災地や保育園の見学
12	3	男性保育士部会	近隣保育園にての出前保育
	4	子どもの育ちを支える運動シンポジウム	講師の鯨岡先生から養護の働き、教育の働きについての講演
	4	幼稚園・保育所5年経験者研修	乳幼児期に大事にしたいこと、乳幼児理解と評価について
	5-6	西柴保育園発表会、姉妹園見学	西柴保育園発表会見学、阿久和保育園、阿久和キッズ見学
	12-13	阿久和保育園発表会、西柴保育園見学	阿久和保育園発表会、西柴保育園の見学
1	6	幼稚園・保育所新規採用者研修	先輩2名の講話とグループ討議

	14	研究部会	冊子作り
	16	山王平成会 園長会議	法人と各園の事業報告と事業計画他について話し合う
	16	給食担当者部会	年間の反省と計画について
	30	所長研修	新制度における保育所の役割と責務について
2	13	調理員部会	年間の反省と計画について
	18	県保育士会幹事会	年間の反省と計画について
	18	研究部会	年間の反省と計画について
	28	幼児教育合同研修	「今求められる保育の質」について
3	12	園長セミナー	新年度における経過と課題について

### 内部研修

年月日	研修名	参加人数	研修内容
5月9日	新人研修	6名	人間関係とコミュニケーションについて、園長より講話
8月18日～ 22日	園内研究 3歳児 (公開保育・・・以下同じ)	各自時間を みて参加	防災について考える 3歳児
8月26日	園内研究反省会	8名	3歳児の内容について意見交換する
9月29日～ 10月3日	園内研究 0歳児	各自参加	防災について考える 0歳児
10月7日	園内研究反省会	9名	0歳児の内容について意見交換する
10月20日 ～24日	園内研究 2歳児	各自参加	防災について考える 2歳児
10月28日	園内研究反省会	10名	2歳児の内容について意見交換する
10月31日	新人研修	6名	感染症について看護師より講話
12月8日～ 12日	園内研究 1歳児	各自参加	防災について考える 1歳児
12月18日	中堅研修	14名	“一人一人の育ちを見つめる” 研究発表、討議
12月24日	園内研究反省会	8名	1歳児の内容について意見交換する
1月19日～ 23日	園内研究 5歳児	各自参加	防災について考える 5歳児
1月27日	園内研究反省会	8名	
2月5日	新人研修	6名	主任より講話
2月9日～ 13日	園内研究 4歳児	各自参加	防災について考える 4歳児
2月17日	園内研究反省会	8名	4歳児の内容について意見交換する
2月19日	新人研修	6名	“一人一人の育ちを見つめる” 研究発表、討議

( 2 ) 来年度に向けての検討事項

- ・各地で災害の発生が多く聞かれる今、今年度の内容はとても身近な問題としてとらえることができた。いざという時のことをいつも考えて日々の保育に取り組んできたことは大きな成果といえる。  
一つのテーマに向かって皆で保育を進めることの大切さを学んだという職員の感想も聞かれるので今後役に立てたいと考える。
- ・新人研修、中堅研修も内容を検討して充実できるようにしたい。

以上



# 平成 26 年度 阿久和保育園事業報告

## 1. 事業内容

- ・一時預かり事業は年間、約 260 名のお子さんを預かっている。
- ・延長保育事業は月約 10 名預かる。
- ・地域子育て支援事業は年間約 2、700 名の親子が参加する。
- ・火災、地震の訓練は年度当初から計画をたて、水害の訓練は年度途中より導入する。今年度は 2 回行う。この訓練を行ったことで 2 つの事を学習する。備蓄品の貯蔵を 1 階と 2 階の倉庫に分散し収納する。園児の避難場所は 2 階にする。

## 2. 保育園をめぐる状況

- ・定員は 2 年連続して 90 名のところ、実質は 96 名を受け入れる。
- ・0 歳児を受け入れて 3 年経過する。2 年間は 4 月当初から定員 14 名を受け入れる。今年度は定員 14 名に達したのは 10 月である。
- ・災害時地域の町内会長宅（本部）が全壊した時には、保育園の一部を本部として借用したいという申し出がある。貸与はできるが、鍵（休園の時災害が発生）について誰が開錠するか現在検討課題になっている。

## 3. 重点施策

- ・新保育課程を基に、年間指導計画、月案、日案を作成し活用している。また新しい保育日誌を今年度より使用。内容は、保育室の温度、湿度等環境に対する記入や保育士の反省を記入する欄があり、記載に時間がかかるが、日誌を書くことで 1 日の反省と明日への保育に役立っている。園長も保育日誌を読むことで、クラスの一日の様子がわかり、アドバイスをしやすく、保育士の園児への対応等の熱意が読み取れる。

## 4. 施設整備及び備品等購入

- ・園庭に砂を購入・EM 菌を使用して夏野菜、芋等を収穫。給食の食材の一部として食育に役立っている。
- ・災害対策 備蓄食料品は三日分を備蓄。設置場所も水害を考えて、2ヶ所（1階2階の倉庫に備蓄）設定。災害時に使用する釜を購入（薪を使用）
- ・園庭の化粧ブロックにガードをする。

## 5. 部門別保育年度達成目標

・乳児保育部門（清潔で衛生的な環境作り）

0歳児・今年度は実地監査で、おむつ替えの様子を見てもらう。順番を追って最初から最後まできちんとできた為、この通り行うよう指示を受ける。

・今年度は途中入園児が多くクラス運営が大変だったが、職員皆の協力で大きな事故もなく、現在に至っている。（14名中1名残留）

1歳児・出席率の高いクラス。保育園大好きな園児で、言語発達が気になるお子さんがいる。保護者より、相談を受け、対応した結果、今では自分から友達に話すようになった。クラス担任が明るく楽しく園生活を送るよう日々心掛けている。

2歳児・生活習慣特に排泄（おむつからパンツに切り替える）をクラス全園児が切り替えることができた。遊びの中で言葉でのやり取りが活発になりトラブルを起こしながらも職員が仲間に入り、自分の意志を表現できるようになった。

・幼児保育部門

3歳児・今年度は年度途中で入退の入れ替えが何度かあった。自己主張が強く、個性豊かな子どもが多い為、クラスをまとめるのに苦慮した。

言葉や知識に興味を持つ時期なので、担任が他の職員の協力を得て少しずつだが、現在では、生活習慣や遊びのルールを守れるようになった。

4歳児・今年度は支援児1名を含め17名のクラスであった。楽しんで友だちとごっこ遊びや、運動遊び、巧緻性のある遊びに取り込んでいる。このような経験を通して、想像力や社会性が身に付きつつある。9月は、繭を使って箸の正しい持ち方を学習したことで、今では皆が箸を使用して給食が食べられるようになった。

5歳児・朝夕のクラス集会では、子ども達の自発性を大切に、話し合い、基本的な生活習慣を基礎にして、社会性やルールをしっかりと身に付けると共に、集団生活の中で思いやりのある行動がとれるようにし、3ヶ月後にはスムーズに就学できるように援助している。



6. 児童数・職員数

(1) 入所児童数(平成 26 年 12 月 31 日時点)

(単位：人)

	0 歳児	1 歳児	2 歳児	3 歳児	4 歳児	5 歳児	合計
4 月	8	1 6	1 6	1 6	1 7	1 7	9 0
5 月	9	1 6	1 6	1 6	1 7	1 7	9 1
6 月	1 0	1 6	1 6	1 6	1 7	1 7	9 2
7 月	1 1	1 6	1 6	1 6	1 7	1 7	9 2
8 月	1 3	1 6	1 6	1 6	1 7	1 7	9 4
9 月	1 3	1 6	1 6	1 6	1 7	1 7	9 4
10 月	1 4	1 6	1 6	1 6	1 7	1 7	9 6
11 月	1 4	1 6	1 6	1 6	1 7	1 7	9 6
12 月	1 4	1 6	1 6	1 6	1 7	1 7	9 6
1 月							
2 月							
3 月							

(2) 職員数(平成 26 年 12 月 31 日時点)

(単位：人)

職種	園長	保育士	栄養士	調理士	事務員	看護師	合計
正職員	1	1 4	1	1			1 7
嘱託職員					1		1
パート職員		8		1	1		1 0

## 7. 実施行事

### (1) 実施行事一覧

月	日	名称	内容
4	1	入園、進級式	新入園児と進級児を祝う会と職員紹介。
	15	避難訓練	地震、火災、水害等の訓練について話す。
	17	誕生会	4月生まれのお友だちのお祝い会を行う。
	23	クラス懇談会乳児 3クラス	1年間のクラス運営について話す。ひよこ22日りす23日うさぎ24日
5	2	子どもの日の集い	こいのぼりや新聞紙などで兜を作り見せ合い集う。
	13	昔遊びの会	昔遊びの手作り玩具を近隣の方きて園児と遊ぶ。
	15	内科検診	嘱託医による内科検診。
	20	クラス懇談会たんぽぽ組	1年間のクラス運営について話すと共に懇談する。
	21	クラス懇談会ひまわり組	1年間のクラス運営について話すと共に懇談する。
	22	クラス懇談会さくら組	1年間のクラス運営について話すと共に懇談する。
6	5	マリノスサッカー教室	サッカーボール、ラダー等を使い遊びを教えていただく。
	10	昔遊びの会、蟻虫卵検査提出	メンコや竹馬等を持参し、遊び方を教えていただく。
	12	歯科検診、仲良しランランデー	瀬谷区の園児が集合して一緒に遊ぶ。
	30	原小学校交流(5歳児)	原小学校に行き1年生と一緒に遊ぶ。
7	1	プール開き	楽しくプール遊びができるよう約束事を話す。
	3	原中学校職業体験	中学生と一緒に遊ぶ。
	7	七夕集会	園児が作った飾りを笹にかざり七夕まつりを行う。
	18	夏祭り	夕方、父母と一緒に盆踊りや夏の遊びを楽しむ。
	30	泥んこ遊び	汚れてもいい服に着替えて園庭で遊ぶ。
8		7/1~8/28 間プールあそび	プール遊びを年齢別に分かれて遊ぶ。
	26	納涼祭	納涼祭りに参加する。
	28	プール閉い	プール遊びたのしかった。
9	17	避難訓練・引取り訓練	お迎えの時に迎えの人がサインと共に書類にチェック。
	20	カレーパーティー	地域の親子と(タッパ持参)園児と一緒に食べる。
10	5	クッキー作り	クッキーを作り食べる。(地域)
	11	運動会	年度当初から始めた運動、リズムを発表する。
	20	宅急便	宅急便の人と車が来園し交通ルール等教えてもらう。
	30	お弁当遠足	春、行ったところより距離を伸ばし弁当持参で遠足。
	31	ハロウィーン	園舎内をハロウィーン一色にしてあそぶ。
11	7	人形劇	人形劇を地域の子どもと一緒に見て楽しむ。
	14	収穫祭	園の畑で採れた野菜や散歩で拾ったどんぐり等で遊ぶ。
	15	マジックショー	マジックショーを地域の子どもたちと一緒に見る。
	21	園児健康診断	嘱託医の医師が来園して健診を行う。
	7	ちょっと早いクリスマス	クリスマスの飾りをつくる。

12	11	合同育児講座（宮沢、阿久和）	地域の保育園と合同で就学前のこどもを対象に行う。
	14	発表会	年度当初より、取り組んできた表現力を中心に発表する
	20	お楽しみ会	サンタさん呼んで、プレゼントをいただいたのしむ。
	8	子ども新年会	新しい年を迎え、お正月遊び等して遊ぶ。
1	20	似顔絵	年長児、地域の子どもたちが似顔絵を描いてもらう。
	28	影絵	影絵を見て楽しむ。
	3	節分	鬼のおめん等作り節分を楽しむ。
2	3	さくら組懇談会	1年間のクラスの様子を話すと共に就学に向けて話す。
	4	ひまわり懇談会	1年のクラスの様子を話すと共に進級に向けて話し合う
	5	たんぽぽ懇談会	同上
	9	うさぎ懇談会	同上
	10	りす懇談会	同上
	12	ひよこ懇談会	同上
	19	ストレッチ	指導の先生を招き子ども達楽しむ。
	20	おひな様作り	地域の子ども達、おひな様を作る
3	3	ひなまつり	自分で作ったおひな様をホールに飾り、祝う。
	7	入園説明会	27年度入園を希望している保護者に説明を行う。
	11	お別れ遠足	全園児で近くの公園等に行きお弁当を食べる。
	20	卒園式	卒園児をみんなで祝う。

誕生会、避難訓練、身体測定は毎月行う。

園舎解放（毎月2週土曜日）園庭解放（月～金）に行っている。（地域）

## 8. 研修報告

### (1) 研修報告一覧

月	日	名称	内容
4	8	園長会	年間計画について話し合う。
	10	総会	幹事会、保育士部会
	12	研究部会	部会に分かれて話し合う
	25	評議会	年間の活動について話し合う
5	12	幼保小	顔合わせ 年間計画話し合い
	22	AED、人口呼吸研修	阿久和消防署による実施
	27	幼保小交流事業	授業参観・意見交換・就学に向けての見通し
	30	横浜市保育士定例研修	絵本について学び合う
6	3	衛生管理講習会	集団給食における衛生管理
	16	横浜市保育士定例研修	絵本について学び合う
	20	アレルギー研修	園医によるアレルギー対処法
	27	幼保小交流事業	原小交流計画話し合い
7	1	リズム交流研修	御所野保育園交流
	15	衛生管理講習会	アレルギー対応マニュアル研修
	20	横浜市保育士定例研修	絵本について学び合う
	24	木の実・自然物研修	子どもが作って楽しい木の実工作実践
8	5	新任研修	コミュニケーションスキルについて講演
	27	感染症対策指導者養成研修	感染症対策講演
	28	保育福祉社会主催研修	園で気になる子どもの行動理解と対応
	2	障害児基礎講座	障害児基礎知識講演
9	5	横浜市18区合同研修	ケロポンズ遊びネタセミナー
	5	感染症対策指導者養成研修	感染症対策講演
	12	横浜臨床児・保育研修	子どもから始まる保育
	29	児童虐待防止ネットワーク	個別ケース検討会議の進め方についての研修
10	24	横浜市立保育園新任研修	関東学院大後藤氏による講演
	30	児童虐待防止ネットワーク	児童虐待の現状と相談所機能について講演
	12	主任研修	文教大 桜井氏による講演
	19	幼保小交流事業	円滑な就学に繋げるために交流・勉強会
11	8	中堅研修	瀬谷区保育交流・せやっこまつり
	25	苦情対策基礎講座	浅野氏による講演
	27	障害児基礎講座	西部療育センター見学・意見交換
	28	障害児基礎講座	西部療育センター見学・意見交換
12	2	幼保小交流事業	汐見氏による講演
	9	中堅研修	瀬谷区保育交流・せやっこまつり

	11	給食研修会	施設見学。給食試食・レシピ研究・勉強会
	12	あそびについて考える	玉川大 大豆田氏による講演
1	9	中堅研修	鎌倉女子大 札本氏による講演
	16	園長会	意見交換, 長期計画検討
	21	中堅研修	瀬谷区保育交流・せやっこまつり
	22	幼保小交流事業	円滑な就学に繋げるために交流・勉強会
2	10	メンタルヘルス研修	神奈川県保育会主催研修
	19	乳児食講習会	施設見学。給食試食・レシピ研究・勉強会
	25	横浜市保育士定例研修	絵本について研究発表
	9	保育所リーダーセミナー	子ども子育て支援制度
3	4	保育リーダー研修	主任の役割・保護者対応
	11	絵本について	絵本に読み聞かせ実践研修
	18	横浜市保育士定例研修	絵本について研究発表反省会
	25	幼保小交流事業	円滑な就学に繋げるために交流・勉強会・申し送り

(2) 来年度に向けての検討事項

- ・ 保育に係ることを全職員で分担し、年間を通して予定を立て実行する。
- ・ 研修は自発的に決め参加する。(年間1人2回以上)
- ・ 会議の議題は2日前までに全職員に回す。(添付書類も添えて)
- ・ 第三者評価を受けることを考え、年度当初より、綿密な会議時間を計画していく。

以上



# 平成 26 年度 阿久和キッズ事業報告

## 1. 事業内容

- ・ 保育事業では入退園がほぼ毎月あり、なかなか在園児数が安定しなかった。  
開園当初は 1 歳児 1 名、2 歳児 2 名の計 3 名であったが、現在では 0 歳児 4 名、1 歳児 8 名、2 歳児 6 名の計 18 名で運営している。  
0 歳児から 2 歳児が一部屋で生活するため落ち着かない環境となっているが、職員で話し合い保育環境が整うよう努めてきた。
- ・ 延長保育事業は 2 名から 5 名の児童が利用している。
- ・ 地域子育て支援は保育事業を充実させることに力を入れてきたため、取り組むことができなかった。

## 2. 保育園をめぐる状況

新設ということで 26 年度は土台作りに力を入れ、地域の方々に受け入れていただけるよう積極的に関わりを持ってきた。笑顔で挨拶することを心がけ、地域のイベントや活動に参加することで阿久和キッズのことを知っていただけるよう努めた。

少しずつではあるが、近隣の方々にも声をかけていただけるようになり子ども達の成長を温かく見守っていただける関係もできてきている。また、子ども達や保護者の方々とも信頼関係ができ始め、保育園の運営にも協力的である。子育ての悩みを相談される機会も増え、育児相談の場としても機能してきている。また、子ども達にとっても安心して過ごせる場所となり、笑顔も多く見られる。

近隣の公園や阿久和保育園の園庭に出かけ運動遊びも活発に楽しんでいる。姉妹園である阿久和保育園にはいろいろと助けていただき、給食の面でも調理師が見つかるまでは阿久和保育園で給食を食べ、新人調理師の研修もお願いした。また、地域交流にも参加させていただき多くのイベントを楽しむことができた。

## 3. 重点施策

法人理念を念頭に置き、園の強みとなるものを考え園目標を作った。

そして、阿久和保育園の保育課程やマニュアルを基に職員で話し合い年間指導計画、月案、週案、個別指導を作成した。

保育日誌など阿久和保育園の書式を活用していたが、横浜市の監査後は指導を基に改善しながら職員間でも統一して記入している。

会議や話し合いに関しては会議部屋や保育を担当する職員の確保が難しく十分な時

間が取れずにいるが、限られた時間の中で話し合いを行い全職員で共通理解が持てるよう努めてきた。

保育はサービス業であることを意識しながら日々保育を行っている。園児や保護者に対しては園だよりやホームページ、送迎時に保育の様子など発信していくことができたが、地域の方々にはホームページで発信するのみにとどまってしまっている。

#### 職員会議・カリキュラム会議・園内研修

職員会議やカリキュラム会議では互いの保育の様子を報告・討議し、より良い保育を目指している。

園内研修では阿久和保育園のマニュアルを参考に阿久和キッズに即したマニュアルを作成し、全職員で徹底していけるように努めている。

話しやすい雰囲気作りに心がけ、助け合いながら取り組んできた。また、反省や課題点は討議し明日の保育に活かしてきたが、非常勤の職員においては遠慮している姿が見られることもある。

#### 4. 施設整備及び備品等購入

- ・各クラス保育に必要な家具・備品・玩具などの購入。
- ・調理室に必要な備品の購入。  
0歳児が入園してからは離乳食用の調理器具や食器も購入。
- ・6月に外倉庫とテラスを有効利用できるようバイオクッションの設置。  
その結果、保育室内の整理ができテラスで遊ぶことも可能になった。
- ・プランターを用意しチューリップを植え、育てている。当初は食物も育ててみたいと思っていたが、取り組むことができずにいる。外回りにおいては花で飾り、明るい園作りを心がけた。
- ・災害対策では消火器や懐中電灯を増やし、備蓄品も3日分用意できた。離乳食の備蓄品が少量のため今後用意していきたい。また、全職員が対応できるよう徹底できていないため今後の課題としていきたいと思う。

#### 5. 部門別保育年度達成目標

##### 乳児保育部門

0歳児・・0歳児は6月に1名入園してきたが家庭の事情により1ヶ月で退園され、その後11月まで入園者がいない状態が続いた。

母乳で育てている方が多く、現在は保育園や保育士に慣れミルクを飲めるようになることを目標としている。離乳食においてもゆっくりと進めていきたいという考え方の保護者が多く、忙しいと母乳に頼ってしまっているところが見られるため親育てが必要となっている。

1,2歳児も一緒に部屋で過ごしているため静かな環境の中で睡眠を取ったり遊びを楽しむことができない。食事の時間をずらすなど工夫をしながら過ごしやすい環境づくりに取り組んでいきたい。



- 1 歳児・ ・ 毎月のように入園者、退園者がいたため落ち着かず、また家庭環境が整っていないことで情緒不安定な児童もいた。個々の対応に追われることも多く、クラスとして共通の遊びを体験し楽しむ機会が少なくない。  
その他の面では自我が芽生え自己主張するようになり、言葉で伝えることが少しずつできるようになってきている。また、着替えや手洗いなども自分で取り組もうとする姿も見られてきている。現在は一人一人の子どもの様子を見ながらトイレトレーニングを進め、基本的な生活習慣を身につけられるよう援助している。
- 2 歳児・ ・ 一人ひとりとしっかり向き合い受けとめて保育することができた。  
また、できたことを職員全員で認めていくことでいろいろな面で自信が持てるようになってきている。生活や遊びを通して友達と関わる楽しさも育ってきている。戸外でも身体をたくさん動かして遊び、健康づくりにも取り組むことができた。現在は卒園に向け、排泄習慣や生活習慣の自立に取り組んでいる。特に食事の面では好き嫌いが多く少食であり、食事時の姿勢が身につくよう力を入れている。

#### 給食部門

- ・ 栄養士、調理師が新人であり安心安全な給食の提供という部分で不安を感じる場所もあるが、阿久和保育園の先生方のご協力とご指導により安定して提供できるようになってきた。
- ・ 一人ひとりの状況に合わせ離乳食を進めている。1 歳までは母乳はやめたくない、離乳食はゆっくり進めたいという考えの保護者の方が多く、保護者の方と連携を取りながら取り組んでいる。
- ・ 食物アレルギー対応の児童は現在いないが、7 月までは宗教上の関係で肉類すべてのものが口にできない児童がいた。その児童に対してはアレルギー対応と同じく月末に4 者でアレルギー会議を行い、また提供の時には阿久和保育園のマニュアルを参考に対応した。
- ・ 地域支援としての給食試食会は実施できなかったが、来年度の課題として検討していきたい。

6. 児童数・職員数

(1) 入所児童数(平成 26 年 12 月 31 日時点)

(単位：人)

	0 歳児	1 歳児	2 歳児	3 歳児	4 歳児	5 歳児	合計
4 月	0	1	2				3
5 月	0	4	4				8
6 月	1	5	5				11
7 月	0	6	3				9
8 月	0	5	3				8
9 月	0	6	4				10
10 月	0	8	5				13
11 月	4	9	6				19
12 月	4	8	6				18
1 月							
2 月							
3 月							

(2) 職員数(平成 26 年 12 月 31 日時点)

(単位：人)

職種	園長	保育士	栄養士	調理士	事務員	看護師	合計
正職員	1	2					3
嘱託職員							
パート職員		4+(1)	1	1			7

## 7. 実施行事

### (1) 実施行事一覧

月	日	名称	内容
4	21	入園を祝う会	新入園児をお祝いし、職員紹介。
	26	内覧会	地域の方、関係者をご招待し開園を祝う。
5	2	子どもの日集会	制作したこいのぼりを持っていき、阿久和保育園でいろいろなこいのぼりや劇を見て楽しむ。
	15	内科検診	阿久和保育園で嘱託医の先生の検診を受ける。
	22	煙体験・消防車試乗会	阿久和保育園に消防署の方が来て体験。
6	11	ぎょう虫検査提出	プール遊びに備えて全クラス検査。
	18	全クラス合同懇談会	園の方針や各担任が1年の抱負を話し、その後懇談をする。
	25	ごっこ遊び	阿久和保育園に行き、地域交流を楽しむ。
7	1	プール開き	プール遊びの約束事をし、安全祈願をする。
	18	夏祭り	阿久和保育園の夏祭りに参加。(自由参加)
8	21	スイカ割り	夏の遊びとしてスイカ割りを体験する。
	29	プールじまい	楽しく遊べたことを子どもと確認しプールを清める。
9	16	避難訓練・引き取り訓練	お迎えの時に保護者の方にサインをしていただく。 また、備蓄品も展示し保護者の方に確認していただく。
10	11	運動会	阿久和保育園の地域の種目に参加し楽しむ。(自由参加)
	20	安全教室	阿久和保育園で宅急便の方による安全教室に参加。
	22	お弁当遠足	雨天のため室内で遠足ごっこを実施。
11	13	内科検診	阿久和保育園で嘱託医の先生の検診を受ける。
	14	マジックショー	阿久和保育園でマジックショーを楽しむ。
12	6	親子で遊ぼう会	保護者と登園し劇を見てもらい、一緒にダンスを踊って楽しむ。
	25	お楽しみ会	阿久和保育園でサンタさんに会いプレゼントをもらう。
1	5	子ども新年会	新年の始まりをみんなでお祝いする。
	27	影絵	阿久和保育園で影絵を見て楽しむ。
2	3	豆まき	阿久和保育園で豆をまき、節分を体験する。
	26	全クラス懇談会	1年のクラスの様子や進級・卒園に向けての話をする。
3	3	ひな祭り	おひな様を作ってみんなでお祝いする。
	4	お別れ遠足	全園児で近隣の公園に行き、1,2歳児はお弁当を食べる。
	7	入園説明会	27年度入園予定の保護者に園の説明をする。
	18	卒園式	卒園児をみんなでお祝いする。

(2) 来年度に向けての検討事項

- ・運動会の持ち方を検討。
- ・親子で遊ぼう会の内容も今年度の反省を活かし、より良いものにしていきたい。
- ・懇談会の持ち方も検討していきたいと思う。  
(園児数が増えたため)

8. 研修報告

(1) 研修報告一覧

月	日	名称	内容
4	23	甲種防火・防災管理講習	防火・防災管理者としての基本的知識と実技、資格取得
	24	同上	同上
5	22	A E D、人工呼吸研修	阿久和保育園にて消防署の方から指導を受ける
6	4	衛生管理講習	衛生管理に関する基本的知識
	20	アレルギー研修	阿久和保育園にて園医から指導を受ける
7	11	食物アレルギー講習会	食物アレルギーを持つ子どもへの理解と対応の仕方
9	6	横浜市 18 区合同研修	ケロポンズによるリズム・歌遊びの実技研修
	29	タクティール <sup>R</sup> ケア研修	肌と肌の触れ合いによるコミュニケーション方法
12	2	健やか子育て講演会	子どもの成長の中で言葉がけがいかに大切かということについての話
1	21	瀬谷区保育施設絵本研修会	心を育む絵本の選び方と読み聞かせ体験
2	16	離乳食講座	離乳食について基本的知識の習得

(2) 来年度に向けての検討事項

- ・今年度は職員体制が整わず、職員の研修への参加が実施できなかったので来年度は調整し参加できるようにしていきたい。
- ・職員自身にも研修に参加しスキルアップしたいと思える環境作りをしていきたいと思う。

以上

# 平成 26 年度 西柴保育園事業報告

## 1. 事業内容

### ○保育事業

#### ・一時預かり事業

専任保育士の雇用は無く、クラス吸収型なので園行事、職員体制によっては受け入れのお断りをする場合がある。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
利用数	4名	7名	6名	28名	11名	8名	9名	9名	8名

#### ・延長保育事業

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
利用数	17名	16名	21名	19名	15名	16名	15名	14名	16名

### ○地域育児支援事業

#### ・乳児室開放（月 1 回程度） 園庭開放（週 2 回） 育児講座（年 3 回）

交流保育（リズム遊び、七夕集会、運動会、運動会ごっこ、公園愛護会との焼き芋会、ハッピーデイコンサート、お正月遊びの会、リズム遊び、節分の会）

体験給食（月 2 回） 誕生会参加（月 1 回）

## 2. 保育園をめぐる状況

### ○定員割れ（定員 60 名）

#### 西柴保育園 入所児童数の推移

民間移管前の公立保育園時代（3カ年：平成 19 年、20 年、21 年）

入所児童数	19年度(4月1日)	20年度(4月1日)	21年度(4月1日)
入所児童数	43名	57名	53名

民間移管後の山王平成会運営（4カ年：平成 23 年、24 年、25 年、26 年）

	23年4月1日	24年4月1日	25年4月1日	26年4月1日
入所児童数	54名	55名	45名	50名

### 定員割れについての所感

- ・園としてのプラスイメージ：立地環境（公園、自然の充実）、保育活動の充実。
- ・園としてのマイナスイメージ：駐車場の未設置、園舎の老朽化、園の特徴がうすい。

- ・園見学に来られた入園希望者の半数以上が「西柴以外の保育園は空きがなかったので」等のコメントがあった。
- ・園見学に来られた入園希望者の数名からは「教育的要素(英語、造形、体操、読み書き等)の実践を行っているか」の問い合わせがあった。
- ・途中入所児童の多くは西柴地域への転入家庭であった。

○常勤職員へのアンケート結果(仕事における満足度が低い:「少し不満」が67%)

- ・「少し不満」にマークした職員の多くが理由欄に“人間関係の難しさ”を記載している。その他の意見としては「公立保育園からの流れが強が残っており、新しい試みがなく、そのことに職員も常習化している」、「法人が自分に対して何を求めているのか?計画性、保育環境においてもやりづらさを感じる」、「有給が取りづらい。長期休暇がとれない」等がある。

### アンケート結果についての所感

- ・西柴保育園は公立からの移管園ということもあり、公立から引き継いだ内容(保育内容、行事、職員の心得等)を継続しているところが多い。そのこと自体、決して悪い事ではないが、頑なに誇示しすぎているところがあるため、行事や、日常の保育活動等において、新たなアイデアや取り組みを提案しても受け入れられない現状がある。そのことが、アンケート結果における理由の1つであろう。

来年度以降は公立時代の良いところは、今まで通り継続し、山王平成会西柴保育園としての独自の取り組みやチャレンジを、職員全体で話し合っていける環境を整えていきたい。

### 3. 重点施策

- ・平成26年度事業計画で挙げた内容について、進捗を記載する。

○保育の充実(運動遊びの体系化 1~5歳児まで)

#### 1歳児から5歳児までの発達に基づき、西柴保育園の運動遊びとしてまとめる。

- ・乳児、幼児の担当職員が主になり、1歳児からの5歳児までの連続性をもった運動発達の活動内容(各年齢の特性、獲得させてあげたい力、指導・援助のための留意)を作成し、各々の年齢に応じた運動遊びを展開させていくことが目標であったが、たたき台的なマニュアルが完成していないため、実践としての活動が行われていない。

また、担当職員が作成しているマニュアルは一般的な書籍を参考にして作成しているが、文字の羅列だけでは、各保育職員が理解するうえで指導のポイントが十分とは言えない。予算の都合をつけ、職員自身が専門機関の講師からの指導を受ける機会を設けるべきだと考える。(年間10万円程度)上記内容の実践発表の場として運動会は保護者や地域へ、「西柴保育園の運動遊び」をアピールできる機会となる。

○防災訓練(炊き出し)と災害時非常時食の更なる整備

#### 非常食の備蓄を3日分確保する。防災用品の使用及び炊き出し訓練を行う。

- ・備蓄食は1日分しか確保できていない。また、備蓄食以外にも炊き出し等で使用する品を

購入したいが収納スペースがない。左記の内容も含め、必要となるものは下記の通りである。

備蓄倉庫（10万程度）

防災かまど（5万程度）

備蓄食 3日分

ルミキャップ（蛍光灯破損時の飛散防止シート）（保育園内蛍光灯 100本：10万程度）

## ○園内研修の充実

保育所保育指針を再度学び直し、指針に沿った保育を実践していく。

・平成 26 年度、「保育所保育指針の園内研修」は実践できていない。

平成 12 年の改定では背景に「子どもの生活環境の変化（子どもにふさわしい生活リズムや生活時間が乱れていることや、家庭や地域で子どもも大人も人と関わる経験が不足している）」や「保護者の子育て環境の変化（核家族化や地域とのつながりが希薄になる中で、子育ての不安や悩みを抱えて孤立する保護者が増え養育力の低下）」があり、保育所に「**質の高い養護や教育の機能**」と「**子どもの保育とともに、保護者に対する支援を担う役割**」が求められている。

また、それまでの局長通知から厚生労働大臣の告示化（法令）されたことにより、従来詳細に定められていた内容が**保育所の創意工夫や取り組みを促す観点から大綱化された**。

上記内容を園内研修で充実させていくには、各内容においてのグループディスカッションが必要不可欠であると考えます。大綱化されたことにより、文章は箇条書きとなり、簡潔記述でわかりやすい表現が用いられているが、その分、表面的、断片的な理解となってしまうことがある。だからこそ、グループディスカッションが必要となるのだが、この「話し合える環境」「認め合い」「受け入れ合い」が職場内に根付いていない。「○○○はこうあるべきです」「○○○は違います」からスタートしてしまうため、一方通行のまま会話が断裂してしまい“新しい思いや気づき”を生み出すまでに至っていない。「学ぶ」のではなく「学び合う」意識を高め、保育の質の向上に努めていきたい。

以上のことを踏まえ、平成 27 年度からは下記の取り組みを行っていききたい。

### 保育所保育指針の読み合わせ研修

保育時間中に研修時間を確保することは難しいため、職員会議、カリキュラム会議、または平日の夜を利用して行うことを検討したい。（平日の夜に行う場合は、研修費の確保が必要である。）

### 『保育』以外での話し合える環境の設定

保育内容を中心とした「話し合える環境」を設定した場合、どうしても上記のような会話の偏りが生じてしまう可能性がある。そうならないためにも、保育内容とは異なった環境設定も行っていきたい。

例 1：舞台（芸術）等の観賞（費用の半額は事業所負担）

例 2：社会貢献事業への参加

例 3：阿久和保育園とのスポーツ交流

#### ○防犯関連

送迎時、保育室への出入りは各クラスともテラス側から行っている。そのため、正門の施錠解除中は事務所から送迎者(保護者)の確認ができていない。バルコニーを使用せず、職員用玄関を経由しての各クラスへの出入りを行う場合、子どもたちの下駄箱を職員用玄関に設置しなければならない。(下駄箱 60 人分 8 万円×3 台)

#### 4. 施設整備及び備品等購入

・平成 26 年度事業計画で挙げた内容について、進捗を記載する。

施設整備及び備品項目	購入(設置)済み / 未購入(未設置)	備考
室内用幼児下駄箱 3 台	未購入	8 万円×3 台=24 万
職員用下駄箱	未購入	既存の物を使用
防災用かまど	未購入	5 万
防災時トイレ用テント	未購入	3 万
備蓄品用倉庫の合鍵	購入済み	

\* 園庭の固定遊具(滑り台、ジャングルジム、パーゴラ)の点検総合結果がC評価(要修繕)であった。(平成24年12月に点検実施。見積金額：40万程度 修繕開始時期は検討中)

#### 5. 部門別保育年度達成目標

・平成 26 年度事業計画で挙げた内容について、進捗を記載する。

##### ○保育目標

- 1 歳児
  - ・自己主張の芽生えを大切にしながら、甘えや依存の要求を満たしていく。
  - ・安心できる保育者との関係の中で生活のリズムを身につけ全身運動を楽しむ。
  - ・好きな保育者の話しかけや働きかけにより言葉を使うことを楽しむ。
- 2 歳児
  - ・見守られながら、簡単な身のまわりのことを自分でしようとする。
  - ・見守られながら友だちと関わってあそぶ。
  - ・事物に関心を持ち、見たり触れたりする。
  - ・見聞きしたことを模倣し、自分の思いを人に伝えようとする。
- 3 歳児
  - ・生活リズム、食事のマナー、着脱などがほぼ身に付く。
  - ・戸外遊びを十分にし、体を動かす楽しさを味わう。
  - ・保育者に支えられながら、周りの親しい人と会話したり、自分のつもりをつたえられる。
  - ・さまざまな経験を通して、感じた事や想像したことを表現する。
  - ・友だちとぶつかりながら、相手の気持ちに気づいたり一緒に遊ぶ楽しさを知る。



- 4 歳児 ・生活に必要な意味がわかり見通しをもって自分の身の周りのことをする。  
 ・興味をもった活動に集中する。  
 ・小人数の仲間やグループで一人ひとりが自分の考えや思いを伝え、友だちの考えも聞き話し合う。  
 ・それぞれが自分の考えを出し合いながら友だちと一緒に過ごす楽しさを味わう。
- 5 歳児 ・見通しをもって生活できるようになり、生活習慣が自分の意志や判断で進められる。  
 ・友だちとぶつかりながらも協力し合い、目的を達成していく喜びを味わう。  
 ・探究心が深まり、試したり、工夫したりして遊びを楽しむ。  
 ・身近な社会、自然に親しみ、感じた事や想像したことを自分なりの手立てで表現する。  
 ・地域の人や中学生等、異年齢児の子と関わりそれぞれの人の気持ちを理解しようとする。

### ○食育

概ね 6 か月～1 歳 3 か月

概ね 1 歳 3 か月～2 歳未満

概ね 2 歳

概ね 3 歳～4 歳

概ね 5 歳

概ね 6 歳

- ・さまざまな食品に慣れていく。
- ・食べてみたいという意欲を大切にし、手づかみでも自分で食べてみようとする。
- ・スプーンやフォークを使って進んで食べようとする。
- ・スプーンやフォークを使って進んで食べようとする。
- ・正しい箸の使い方を身につけていく。
- ・食事の仕方やマナーを知り、正しく食事をする。
- ・身近な食材を見たり、触れたり、育てたりして興味をもつ
- ・食を通して、健康と食物の関係に関心をもつ。
- ・食を通して、自らの健康や自然とのかかわり、食文化への関心を高め、より楽しんで食事をするようになる。

6. 児童数・職員数

(1) 入所児童数(平成 26 年 12 月 31 日時点)

(単位：人)

	0 歳児	1 歳児	2 歳児	3 歳児	4 歳児	5 歳児	合計
4 月		9	7	13	9	12	50
5 月		9	8	13	9	12	51
6 月		9	8	12	9	12	50
7 月		9	8	12	9	12	50
8 月		9	8	13	10	12	52
9 月		9	9	12	10	12	52
10 月		12	9	12	10	12	55
11 月		11	9	11	10	12	53
12 月		9	8	11	10	12	50
1 月							
2 月							
3 月							

(2) 職員数(平成 26 年 12 月 31 日時点)

(単位：人)

職種	園長	保育士	栄養士	調理士	事務員	看護師	合計
正職員	1	7	1	1			10
嘱託職員							
パート職員		10		1			11

## 7. 実施行事

### (1) 実施行事一覧

月	日	名称	内容
4	1	入園・進級を祝う会	新入園児、進級児童を祝う
	16	避難訓練	午前中の時間帯に地震を想定した避難訓練を行う
	22	4月誕生会	4月生まれの児童の誕生を祝う
	24	5歳児 すみれ組 懇談会	クラス担任と保護者との情報交換を行う
5	1	こどもの日の会	日本の伝統行事の意味や大切さを伝える
	13	春の健康診断	かななこどもクリニックの川名先生による診察
	15	避難訓練・茶道教室	火災を想定した避難訓練・年間を通して茶道を学ぶ
	27	5月誕生会	5月生まれの児童の誕生を祝う
		懇談会	3歳児(5・20) 4歳児(5・14) 1,2歳児(5・22)
6	12	茶道教室	年間を通して茶道を学ぶ
	24	6月誕生会	6月生まれの児童の誕生を祝う
	27	プール開き	安全祈願をし、子どもたちとプール遊びの約束をする
7	4	七夕の会	七夕の由来を知り、楽しんで行事に参加する
	10	茶道教室	年間を通して茶道を学ぶ
	17	年長児 三園交流(第一回)	釜利谷、あおぞら谷津、西柴保育園の三園交流
	22	7月誕生会	7月生まれの児童の誕生を祝う
	24	交通安全教室	交通安全指導に参加し、交通ルールを学ぶ
	25	阿久和保育園との交流	ホールでサッカー交流
8	7	茶道教室	年間を通して茶道を学ぶ
	21	避難訓練	長時間保育中の火災を想定した訓練
	26	8月誕生会	8月生まれの児童の誕生を祝う
	29	おまつりごっこ	幼児の各クラスがお店を出し、お祭りの雰囲気を楽しむ
9	2	防災訓練	警戒宣言発令を想定した訓練
	4	プール終い	安全に活動を終わられることを感謝し、個々の上達を称える
	17	歯科健診	かなざわファミリー歯科の黄先生による診察
	24	9月誕生会	9月生まれの児童の誕生を祝う
10	4	運動会	運動遊びの成果を参観者の前で披露し、皆で楽しむ
	10	運動会ごっこ	年中が主体となり、地域の方と一緒にごっこ遊びを楽しむ
	16	避難訓練	二次避難として、西柴小学校まで避難する
	21	10月誕生会・	10月生まれの児童の誕生を祝う
	21	西柴小給食体験	5年生にエスコートしてもらい、給食を体験する
11	11	公園愛護会との焼き芋会	隣接した第一公園で焼き芋会を行い地域交流を行う
	12	三園交流ドッジボール大会	釜利谷、あおぞら谷津、西柴保育園でドッジボール大会
	19	消防署立ち合いの避難訓練	通報訓練、消火器訓練、煙体験、防火服の着用体験

	25	11月誕生会・	11月生まれの児童の誕生を祝う
12	6	お楽しみ会	日頃の表現活動を保護者や地域の方の前で発表する
	10	ハッピーデイ	地域のハーモニカグループの演奏を聴き交流をもつ
	24	12月誕生会・	12月生まれの児童の誕生を祝う
1		お正月遊びの会	祖父母や地域の方と一緒に正月遊びを行い楽しむ
		年長すみれ組 懇談会	子どもの成長を語り合い、進級に向けて確認し合う
2		節分の会	節分の由来や豆まきについて話を聞き、豆まきを行う
		たんぼぼ・ゆり・ちゅうりっぷ懇談会	子どもの成長を語り合い、進級に向けて確認し合う
3		ひなまつりの会	ひなまつりの会を皆でお祝いする
		お別れ遠足(卒園児のみ)	保育園の思い出で作りとして遠足を楽しむ
		入園説明会	入園する保護者に説明、情報交換を行う
		卒園式	年長児の卒園を皆で祝う

## (2) 来年度に向けての検討事項

### ○組織の活性化(人材:ソフトの活性化)

来年度以降は公立時代の良いところは、今まで通り継続し、山王平成会西柴保育園としての独自の取り組みやチャレンジを、職員全体で話し合っていける環境を整えていく。上記内容を充実させていくには、各内容においての職員内での話し合いが必要不可欠であり、「学ぶ」のではなく「学び合う」意識を高め、保育の質の向上に努めていく。

以上